1. HP掲載·記者会見

- 〇廃炉・汚染水問題に関する方針・対策、各種会議の検討状況、予算事業の公募・選定結果等について、資源エネルギー庁のHPに掲載。
- 〇基本方針や追加対策、汚染水処理対策委員会での検 討状況などについて、東京と福島で記者会見を実施。
- 〇福島第一原発の状況を示す関連データ等を東電のHP に毎日掲載。東電の対策・取組についても、関連資料・ 動画解説をHPに掲載。
- ○東電の取組について、東京と福島で記者会見等を実施 <東京(記者会見)>原則、月・水・金の夕方[ライブ配信] <福島(記者レク)> 原則、平日の朝・夕



3. 地元でのセミナー・説明会の開催等

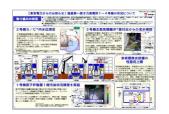
- 〇中長期ロードマップ・セミナーや地元説明会の開催 H24年12月(福島市)、H25年6月(福島市、いわき市)
- ○東電のスタッフが、仮設住宅を自治会単位で訪問。進捗 状況やご関心の高い取組などについて説明。

2. 自治体関係者への連絡等

- 〇国や東電(現地スタッフ)は、毎月、関係自治体を訪問し、 進捗状況等を説明。東電は、定期的に他の県内市町村も 訪問し説明。
- 〇内容に応じて地元関係団体への説明を実施。
- 〇政府の会議終了後などに、TV会議システムを活用し、 関係自治体への情報提供を実施。
- 〇東電は、関係自治体との協定等に基づき、廃止措置の取組状況を報告。事故・トラブルの発生時には、通報連絡を実施。
- ○1枚にまとめた日報の提供(県内全市町村)
- ○「4号機燃料取り出し」の解説DVDの配布(県内全市町村)

4. チラシ等の配布

- ○「4号機建屋の健全性」(約28,000部)[H24年6月]
- 〇「廃炉に向けた取組」(約35,000部) [H24年12月]
- ○「東京電力からのお知らせ」(約35,000部)[月1~2回]





情報提供・コミュニケーションの改善に向けて

透明かつ迅速に行うことはもとより、

- 1. 事象の概要だけでなく、原因や影響、全体の廃炉作業での位置づけなど、事象の意味合いをご理解いただける形で
- 2. 問題の程度・度合いについて、客観的な指標などと比較・評価いただける形で
- 3. 起きた事象の報告だけでなく、それに対する対処・対応策も併せて
- 4. 文字だけでなく、イラストや画像等を活用した分かりやすい形で
- 5. ホームページだけでなく、インターネットを利用されない方々にも身近なメディアを通じて

地元の皆さまへの情報提供・コミュニケーションを行うよう努めていきます。